

事務事業名	21215 公園事務費																							
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園担当												
組織コード	R3	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	06	R2	01	08	04	06	R2	01	08	04	06	02	01	記入日	令和 3年 6月16日
	R2	15	06	00		R2	01	08	04	06	R2	01	08	04	06	R2	01	08	04	06				

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ																		実施計画候補	
基本目標	04	緑と潤いのあるまち															○ 対象 ● 対象外		
分野	02	公園・水辺																	
施策	40	魅力ある公園づくり																	
事業期間	平成17年度～令和2年度																		
根拠法令 通達等											関連計画 施政方針								
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの																		
対象																			
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）																		
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）																		
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()																		

2. 実施結果

事業の 予算・実績			令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業内容		課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	
	事業費		2,365	3,142	3,767	3,767	3,767	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	3	0	0	0	
	一般財源		2,365	3,139	3,767	3,767	3,767	
	人件費		7,408.68	6,300.84	6,300.84	6,300.84	6,300.84	
	投入 人員	常勤職員	1.07人	0.91人	0.91人	0.91人	0.91人	
非常勤職員		0.19人	0.26人	0.26人	0.26人	0.26人		
事業費+人件費		9,774	9,443	10,068	10,068	10,068		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①							-
	活動②							-
	成果①							-
	成果②							-
目標達成 状況 の分析	- : 未設定 <判断理由>							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 事務に必要な事業であるため、現状で継続する。
今後の取組方針	

事務事業名	7546 ちびっ子プール補助金事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園担当		
組織コード	R3	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	06	R3	01	記入日	令和 3年 6月16日
	R2	15	06	00		R2	01	08	04	06	R2	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	04 緑と潤いのあるまち	○ 対象 ● 対象外
分野	02 公園・水辺	
施策	40 魅力ある公園づくり	
事業期間	昭和46年度～令和2年度	
根拠法令 通達等	関連計画 施政方針	
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象	戸田市民（幼児）	
事業目的	町会地域内の親と子の心のふれあいの場として、ちびっ子プールの活用を促し、近隣社会の意識の高揚と健康で心豊かな人間づくりに寄与する	
事業内容	該当する町会の創意工夫により、安全で楽しく、ちびっ子プールの運営が行えるように補助金を交付する各町会に、原則7～8月末までの期間に14回以上、ちびっ子プールを開催することを伝えた上で、開設期間及び実施日時の設定を任せている	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)
	事業費		29	1,600	1,604	1,604	1,604
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	29	1,600	1,604	1,604	1,604
	人件費		1,246.32	1,107.84	1,107.84	1,107.84	1,107.84
	投入 人員	常勤職員	0.18人	0.16人	0.16人	0.16人	0.16人
		非常勤職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
事業費+人件費		1,275	2,708	2,712	2,712	2,712	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	補助件数	件	1施設あたり40,500円	33	32	32
		ちびっ子プール開設箇所	カ所		31	0	—
	活動②	ちびっ子プール開設箇所	カ所		33	32	32
		ちびっ子プール開催日数	日	開設された全ちびっ子プールの平均	31	0	—
	成果①	ちびっ子プール開催日数	日		15	15	15
ちびっ子プール延利用者数		人		15.2	0	—	
成果②	ちびっ子プール延利用者数	人		9,600	9,000	9,000	
				8,204	0	—	
目標達成 状況 の分析	C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 事業目的に沿って、各町会がプール開設を要望された。しかしながら、令和2年3月から流行している新型コロナウイルス感染防止を目的に、市が指導して、全ての開設を取り止めた。新型コロナウイルス感染収束が確認された年度から、再開していく。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 町会が主体となって運営されるちびっ子プールは、地域のコミュニティを構築する機会はもとより、親と子のふれあいの場として活用されており、魅力のある公園づくりに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 転入の多い子育て世代が地域の方々と顔見知りになれる機会もあり、その利用者数が相当であること、併せて、町会が主体となって運営していることから経費は適性の範囲内にある。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 市がプールの維持や運営支援を行い、町会が開催・運営を行っている。官民協働にて実施していることから、事業手法は適正な内容である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> ちびっこプールを利用する親子には、地元への愛着が生まれると同時に、地域や町会と繋がることで、町会の方々とも顔見知りになる機会が生まれる。地域のコミュニティ形成も図れることから、受益・負担は適正の範囲にある。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> ちびっ子プールの利用者数は減少傾向にあるが、例年1箇所あたり平均15日開催され、延べ約9,000人弱の利用者があることから、その需要は高く事業を現状で継続する必要がある。
今後の取組方針	ちびっ子プール補助金事業については、地元町会と連携しながら取り組んでいくこととし、住民コミュニティを育む公園づくりを行う運営主体を支援していく。

事務事業名	7485 公園維持管理事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園担当		
組織コード	R3	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	06	03	02	記入日	令和 3年 6月21日
	R2	15	06	00		R2	01	08	04	06	03	02		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	04	緑と潤いのあるまち									○ 対象		
分野	02	公園・水辺									● 対象外		
施策	40	魅力ある公園づくり											
事業期間	平成23年度～令和2年度												
根拠法令 通達等	都市公園法2条の3					関連計画 施政方針	都市マスタープラン 緑の基本計画						
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民、公園利用者等												
事業目的	公園等に訪れる方々が安心して利用できるように、適切な維持管理を行う												
事業内容	公園等の樹木・施設物の維持管理												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	事業内容	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	
	事業費	427,804	492,556	478,101	478,101	478,101	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	26,768	17,470	17,470	17,470
		一般財源	427,804	465,788	460,631	460,631	460,631
	人件費	18,417.84	17,102.28	17,102.28	17,102.28	17,102.28	
	投入人員	常勤職員	2.66人	2.47人	2.47人	2.47人	2.47人
		非常勤職員	0.3人	0.34人	0.34人	0.34人	0.34人
事業費+人件費		446,222	509,658	495,203	495,203	495,203	

目標達成状況	指標名		単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	業務委託件数	件	業務委託契約件数	38	36	30
活動②	公園施設点検回数	回	町会による公園施設の点検・清掃回数	37	37	—	
成果①	業務委託執行率	%	業務委託報告書提出率	24	24	24	
成果②	苦情件数	件	公園に対する苦情件数	24	24	—	
				100	100	100	
				100	100	—	
				665	600	600	
				529	674	—	

目標達成状況の分析

B：活動・成果のいずれかを達成した。

<判断理由>
 予算に基づき目標達成に向けて事業を進めたことにより、2つの活動・1つの成果ともに目標を達成することができた。しかし、苦情件数は目標件数を上回った。新型コロナウイルス感染を避けるため、屋外利用の需用が高まり、公園の利用者数が増えたことが原因と思われる。

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 身近な公園等の植栽や公園施設を適切に管理することにより、公園利用者が集い、憩える安全な公共空間が保つことができている。施策の目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 樹木の生長期間及び植栽場所に注目し、隔年剪定を実施することで経費の抑制を図っており、事業費等の水準は適正である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 民間企業に業務を委託することで、速やかに専門性を有する対応が可能になっている。また、専門性を有しない維持管理業務においては、町会により実施している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 公園や緑等を適正に維持することで、まちの景観等を向上させ、地域に潤いを与えることから、受益・負担は適正な範囲にある。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、町会清掃委託の実施町会には三密を避け、少人数による実施を励行して頂き、公園を清潔に保つことが出来た。
見直しの効果	新型コロナウイルス感染防止対策を励行しながら、状況に応じた迅速な措置をすることで、業務の遂行が出来た。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 今後、老朽化した施設の維持管理費の増加が予想され、都市整備事業の進捗に伴い新設公園の開設が控えていることから予算の拡大が見込まれる。 しかし、市の財政状況が厳しいことから、適切な維持管理と公園施設の長寿命化を図る改修に加え、施設使用料の収益増を図り、支出を抑えて収入を増やす効率的な公園運営を検討し実施していく。
今後の取組方針	公園等の維持管理について、新たに包括的な指定管理者制度の導入を検討する。 維持管理費抑制のため、公園施設の長寿命化を図ることや、高木の維持管理方針に基づき樹木の適切な管理に努めると共に、自動販売機の設置等で収益性も高めていく。また、町会委託など地域住民による維持管理を継続する。

事務事業名	7620 公園施設整備・改修事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園担当		
組織コード	R3	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	06	04	01	記入日	令和 3年 6月16日
	R2	15	06	00		R2	01	08	04	06	04	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	04	緑と潤いのあるまち									● 対象 ○ 対象外		
分野	02	公園・水辺											
施策	40	魅力ある公園づくり											
事業期間	平成23年度～令和2年度												
根拠法令 通達等	都市公園法3条 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー新法）							関連計画 施政方針					
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民、幼児から成人、高齢者や障害者等の公園利用者												
事業目的	公園利用者の誰もが安心して安全に利用しやすい施設づくりと、快適な公園づくりを目指す。												
事業内容	新設公園の整備、公園施設の改修												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		88,459	60,630	123,696	123,696	123,696	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	42,000	0	0	0	
	一般財源		88,459	18,630	123,696	123,696	123,696	
	人件費		14,609.64	17,102.28	17,102.28	17,102.28	17,102.28	
	投入 人員	常勤職員	2.11人	2.47人	2.47人	2.47人	2.47人	
		非常勤職員	0.19人	0.34人	0.34人	0.34人	0.34人	
事業費+人件費		103,069	77,732	140,798	140,798	140,798		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動	① 時計設置公園数	箇所	新たに時計を設置した公園数		2	4	4
		② 砂場改修数	箇所	砂場を改修した公園数		3	4	—
	成果	① 時計設置率	%	整備済公園数/管理公園数(158)		0	0	0
		② 砂場改修率	%	整備済公園数/整備必要公園数(82)		0	0	—
						39.8	43	46
					40.5	43.7	—	
					82.9	82.9	82.9	
					82.9	82.9	—	
目標達成 状況 の分析		A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 予算に基づき目標達成に向けて事業を進めたことにより、活動・成果ともに目標を達成することができた。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 誰もが安全に公園が利用できるように、公園施設を整備・改修することで、魅力のある公園の実現を図っており、施策の目標に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 公園の新設・改修時にはユニバーサルデザインの施設整備を行い、部分改修時には最新の安全基準に合致した遊具を適正配置するなど、整備による効果が大きい工事に事業費を効率的に配分しており、経費は適正な範囲にある。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	B	A	A	<判断理由> 公園改修・新設時には、ワークショップ等により公園利用者の意見をお聞きしながら、公園整備のコンセプトを検討した上で、設計・工事を行っていることから、事業手法は適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 公園のルールに則り、老若男女の利用者が互いに譲り合いながら、自由に使用できるように公園の整備・改修を進めているので、受益・負担の適正化は図れている。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	公園リニューアル計画を策定した。
見直しの効果	公園リニューアル計画の策定により、公園経営の視点から、保全管理・施設修繕・樹木剪定に加え、賑わいの創出については民間活力を利用した運営を進める公園管理に改革を図る。また、公園の役割・機能を整理し、利用プログラムの運営や施設機能の充実を図りつつ、維持管理費を抑制していく。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 今後、公園の新設と施設の老朽化において、双方の公園施設内容の均衡を保ちながら、公園の新設整備とリニューアルを進める。
今後の取組方針	土地区画整理事業の都市整備事業により造成された公園予定地は、関係部署と調整を図りながら整備を進めていく。 また、公園改修の際は、公園リニューアル計画に基づき、ワークショップ等により地域のニーズを取り入れた再整備を進めていく。 なお、公園施設長寿命化計画に記載された改修については、リニューアル計画の方針に則り、ポテンシャルカルテ等に基づいた改修等の進行管理に努める。